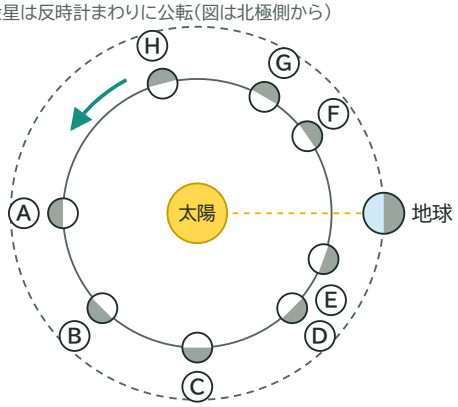
中3 理科 ポイント　　名前＿＿＿＿＿＿＿＿

地球 6 金星の見え方

＿＿＿月＿＿＿日

まとめ 金星の位置と見える時間

明け方 東の空(明けの明星)
金星は反時計まわりに公転(図は北極側から)



夕方 西の空(よいの明星)

金星は、地球より内側を公転する**内惑星**で、太陽の光を反射して光って見える。

太陽から大きくはなれないので、**夕方の西の空**(よいの明星)か**明け方の東の空**(明けの明星)にしか見えない。**真夜中**には見えない。

● 図で、地球から見て太陽より下側の金星は夕方、上側の金星は明け方に見える。

図 満ち欠けと見かけの大きさ

金星は、地球に近いほど大きく、遠いほど小さく見える。地球に近づくと、光って見える部分が細くなる。

金星の位置	見える時間	形と大きさ
太陽の向こう側(A)	見えにくい	ほぼ円形で小さい
夕方に見える位置(B～E)	夕方の西の空	右側が光る。地球に近づくほど大きく、細くなる
明け方に見える位置(F～H)	明け方の東の空	左側が光る。地球から遠ざかるほど小さく、丸くなる

よいの明星(夕方・西)　明けの明星(明け方・東)



A　B　C　D　E　F　G　H

大きく見えるのは地球に近いとき。近いと細い形になる

例題 金星の見え方を考える

(1) 金星が真夜中に見えないのはなぜか。

地球より内側を公転していて、**太陽と反対の向き**にくることがないから

(2) 金星が最も大きく見えるとき、どんな形か。

地球に最も近く、**細い三日月形**

ちりつもドリル 学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。